



大甲 鈔星 船部 一件

伊國公使 報 告 書

1158



114
A 4348



イ、リ、一、号、甲、鏡、艦、船、卸、ノ、報、告

廿九日伊國軍艦カスノラマル造船場ニ於テ
船卸式ヲ為スニ付伊國政府ヨリ余ニ來臨アリタキ
旨案内有之候余ハ廿八日夜ヨリ書記官生ト伊政府
ヨリ響應ノ激車ニ乘シ廿九日午前六時二十分同所
一到着停車場ヨリ各市街皆國旗ヲ揚ケ綠葉彩花ノ
線ヲ縦横ニ張り數千ノ球燈ヲ點シテ各祝意ヲ表ス
内外ノ人膺至蟻聚其式ノ初マルヲ待ツ十一時三十
分余等大禮服ヲ着シ臨場ス伊國皇帝ハ奈不里港ヨ
リ軍艦ニ乘シテ來港アリ時ニ英國及ヒ「ギリヤ」ノ軍
艦滯港其他伊國ノ船舶輻湊シテ萬檣林立彩旗映波
實ニ壯麗也二時二十分新製ノ艦海中ニ沈ノ真ニ大
山ヲ崩シテ海ニ投スルノ勢アリ港中ノ軍艦各祝砲

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

ヲ發シ呼聲天地ヲ震動ス新造軍艦ハ其ノ巨大ナル
下歐洲第一ト云式已了リテ伊國皇帝ハ軍艦ニ乘
シ奈不里ニ向ヒテ駛去ラレタリ英國「ギリシヤ」ノ軍
艦モ伊皇ノ艦ヲ護衛シ奈不里ニ向ヒテ去ル余等夜ニ
至リテ瀛車ニ乘シ歸途ニ就キタリ該巨大ノ軍艦或
ハ無用ノ長物ト云者多シ因テ諸方聞結便大使ノ概
畧ヲ報告ス

伊太里政府ニ於テ近年巨大ノ甲錢艦ヲ製造スルノ
目的ハ多數ノ軍艦ヲ製スルハ之ヲ依持スルニハ多
分ノ經費ヲ要ス然レハ會計上自ラ權衡平均ヲ失シ
テ議論紛々タルヲ免レス

於是海軍少將サンボン氏ハ海軍卿タルヲ以テ軍艦
ノ數ヲ減シテ巨大ノ甲錢艦ヲ製造スルノ議ヲ發セ

リ當時造船局長ブラン氏海軍卿ノ意ヲ承テ非常ノ
工夫ヲ盡シテ新ニ造船法ヲ發明シ數多ノ軍艦ニ交
換スベキ製造ヲ以テ伊太里号ノ甲錢艦ヲ落成セリ
第一此ノ甲錢艦ハ他艦ノ尖頭衝撃并ニ水雷火ヲ避
クル為ニ艦身ヲ内外西部ニ分テ其ノ中央ニ堅牢ノ
方材ヲ以テ區畫シ假令敵艦ノ為ニ外面ノ一部ニ破損
セラレ、其内部ニ至リテハ海水ノ侵入ヲ防シ沈
没ノ憂ナク安全ヲ保ツテ得ハシ
第二此ノ艦ハ炮弹ノ為ニ毀損セラレ、ノ憂ナシ如
何トナレハ艦體ノ水際ヨリ下部一メートル七十センチ
メートル及ヒ水上ニ現ハル、部分四メートル五十センチ
メートル都合六メートル二十センチメートル(我二十)ハ皆ナ
鋼錢ヲ以テ包ミタレハ射彈ノ力ヲ禦クニ足ルリ

一 艦身長

百二十二メートル

我六十七間余

一同幅

二十二メートル

同拾二間余

一同内部ノ高

十五メートル

同八間二尺余

一同外部ノ高

十七メートル

同九間余

第三敵艦ヨリ放發スル大砲ノ彈丸ヲ避クル為ニ艦

ノ中夾ニ鋼鏡ヲ以テ外部ヲ圍ミタル堅固ノ艦室ヲ

設ケ大砲彈藥及ヒ諸器械ヲ貯藏セリ

艦ハ異常ノ仕掛ニシテ水際以下ヲ経タル鏡鎖ヲ以

テ左右進退ノ運動ヲ指揮ス

第四此ノ艦ハ現時歐洲軍艦中ニ進行ノ度最モ神速

ノ力ヲ有スル故ニ歴瀾海ヲ航行スルニ甚タ適當セ

リ如何トナレハ其急速ヲ要スル時二個ノ内輪車ニ

豫備ノ器械四個ヲ加ヘ用ユレハ其全力十八ミル

ケ即

三十三トキロヲ進行ス其神速ナル他艦ノ及フ所ニ非

ス

第五此ノ艦ニ備エ置ク所ノ地門ハ各軍艦ノ大砲ニ

比スレハ最大ノ強カヲ有セリ其大ナルモノハ百噸

ノ徑四十六

二門其他五噸ノ徑十五

十八門アリ

第六航海中何程長キ時日ヲ過クルニ各港或ハ造船

場等ニ碇泊シテ需用ヲ要スルノ不便利少シ石炭ハ

艦内ノ室ニハ二千四百噸ヲ容レ中段ノ置所ニハ少

ナクモ八千噸ノ容量アリ都合壹萬四百噸ヲ艦中ニ

貯蓄スルヲ得ヘシ又航海中石炭ヲ消費スル毎ニ艦

ノ輕重ヲ平均セシメン為ニ海水ヲ以テ其分量ニ充

タシム且ツ風帆ノ力ニ帆前船ニ劣ラサレハ帆力ヲ

用ヒテ航進スハシ若シ蒸氣カト風帆ノカトヲ同テ

航海スル時ハ二三ヶ月海上ニアルモ港泊ヲ要セザルヘシ前条ノ製作ニヨレハ巨大ノ軍艦、通常ノ艦ニ比スレハ利益最多シテ伊太里号ノ甲鉄艦ハ最大ノ利用ヲ占得スルモノトス

然ルニ此ノ大甲鉄艦ヲ以テ不可トスル者ノ説ニ云此ノ艦ハ水際上下ノ両部ナラテハ銅鉄ヲ装置セサレハ敵ノ炮彈ヲ避クルニハ不充分ノ者トス又艦身甚タ長ケレハ劇シキ「タンカー」シユ(船ノ堅ニ動ニ出)逢ヒシ時ハ必ス甲鉄外ヲ下部ヲ頭スヘシ然ル時ハ敵艦ノ衝突砲彈ノ射撃ニ逢ハハ其ノ損害ヲ免ル可カラス且又横ニ動揺スル「劇シキ」ニ當敵艦ヨリ艦内ノ器械彈藥庫ニ向テ攻撃セハ其ノ堅固ヲ特メル貯蓄所ハ士官及ヒ海兵ヲ容ル、ノ餘地ハ百人ノ為

ニ防禦スルニ過キス其ノ餘ノ乗組人四百名ハ何ノ場所ニアツテ其安全ヲ保テ得ハキカ其ノ危難終ニ免ル可カラズ是ニ因リテ之ヲ觀レハ確ニ敵艦ノ炮彈ヲ避ク可キ部分ハ僅ニ二ノートルニ過キス

今伊政府ハ三千万フランクノ巨額ノ國財ヲ費シテ敵ノ水雷火ニ舵ヲハ破ラレ敵ノ砲撃ニ汽輪ヲ碎カレテ大海ニ巨大ノ甲鉄艦ヲ沈没セシメン為ニ辛苦シテ製造スルモノニ似タリ

「イタリ」甲鉄艦ハ英國最大ノ甲鉄艦ニ等シ然ル其製造ノ仕方ニ付テハ「エトワールト」リ「ト」氏曾テ「イタリ」号造船圖面ヲ觀テ批評シテ曰ク此ノ巨大ノ甲鉄艦製造落成シテ大

砲諸器械ヲ全備セシメハ殆ント英貨百万磅ヲ費サ
リシハ其成功ヲ得ス

又其新聞紙ニ曰ク米國人其歐洲各國海軍ノ景況ヲ
其ノ本國ニ報シタル書中ニ第一ニ伊太里國海軍ノ
事情ヲ述ハタリ曰ク伊國政府ハ古今未曾有絶大ノ甲
鐵艦ノ神速ニシテ大砲器械全備シタル者ヲ製造セ
リ往時拿破列翁第三世伊太里ノ一統ニ援兵ヲ出シ
テ其ノ勢ヲ助ケシ時ハ恐ラクハ今日伊太里ノ如此
絶大ノ軍艦ヲ製造スルヲアラントハ思量セラレサ
ルハシ

一スタンタール新聞紙ニ曰ク伊太里ノ政界及海軍
ノ事情ニ付テハ確ニ陳述スル能ハサレハ是等巨大
ノ甲鐵艦二艘ヲ成就スルノ費額ヲ用ヒハ十五艘ノ

軍艦ヲ所有スルヲ得ヘシ故ニ今「イタリ」号ニ用ユ
ル所ノ費額ヲハ軍艦七艘ヲ失フ者ニ似タリ惜哉伊
太里人ニシテ其ノ海軍卿ニ向テ意見ヲ陳述シテ確
實ニ討論スル者アラハ斯ハル失策ニハ至ルマシ然
レハ伊太里政府ハ巨大ノ甲鐵艦ヲ以テ歐洲各國ニ
冠絶スレハ海軍ニ於テハ非常ノ巨艦ヲ保有セル器
械國ト云ハサルヲ得ス

伊太里國ハ己ニ英國最大ノ甲鐵艦「アンフレ」
号ニ等シキ「レユリヨ」及「ダントロ」号ノ如キ巨艦ヲ以
テ武威ヲ海上ニ示シテモ猶以テ足レリトセス驚愕
可畏巨大ノ甲鐵艦ノ神速ナルヲ望ミテ「イタリ」号
ヲ製シ又續イテ「エレバント」号ヲ製造セリ是等ノ絶
大ノ甲鐵艦ヲ海上ニ浮フル時ハ伊太里ハ實ニ畏懼

スヘキ海軍ヲ有セル國ト云ハサル可カラス然レ此
ノ諸甲鐵艦ヲ製造スル為ニハ巨萬ノ金額ヲ費シテ
國庫ヲ空シクセサルヲ得ス然レハ海軍ノ雛形ノ為
ニ全國ノ財用ヲ盡シタルノ憂ナシト云ヘカラス私
ニ伊國ノ為ニ恐ル、所ナリ如此唯海岸防禦ノ為ニ
全カヲ用ヒハ到底國計ノ平均ヲ先シ大藏省ノ全額
之レカ為ニ傾クニ至ラン且伊太里ハ廣大ナル海岸
ヲ有セル國ナレハ有事ノ時ハ敵ノ海軍ハ實ヲ避テ
虚ヲ擣ク可シ其時ハ此ノ巨大ノ甲鐵艦ヲ所々ニ運
用シテ其ノ攻撃ヲ防禦スルカ

今若シ伊太里人其過失ヲ悔悟セハ海軍卿及輔佐ノ
官員ヲ变革シテ適宜ノ方畧ヲ熟慮セサルヲ得ス若
シ又前議ヲ株守シテ巨大ノ甲鐵艦ヲ製造シテ止マ

サル時ハ歐羅巴并ニ米國人ハ伊國政府ハ唯自國ヲ
保護シ自國ヲ防禦スル為ニ利害ヲ計較セス熱心努
カスルモノト認定セシノミ

夫海岸國ノ軍艦ヲ製シテ防禦ヲナス者ハ其利害ヲ
察シ其ノ得失ヲ考エ大小各其用ニ適スルヲ要スヘ
シ徒ニ絶大ノ巨艦ノミヲ持テ全海岸ノ廣地ヲ守禦
セントスル者ハ未タ計ノ得タルモノト言ヘカラス
知者ハ必其變通ノ策アル可シ今衆論ヲ記載シテ覽
者ノ一考ニ供ス

